

広報四季が丘

vol.7

廿日市市四季が丘自治連合会事務局発行

〒738-0036 広島県廿日市市四季が丘五丁目 13 番地 3

令和7年度の活動を振り返り

会長 岡永 正

この1年、各町内会の皆さんには、夏まつりやとんどのイベントをはじめ連合会の諸活動にご協力及びご参加いただき誠にありがとうございます。

連合会や町内会の活動やイベントを通じて住民同士の交流が深まり、顔の見える四季が丘になっていけたら幸いです。

来年度も一人でも多くの方にできるところから参加・協力して頂けたら、もっと良い四季が丘になると信じて活動を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

円卓会議より（一緒に活動しませんか）

廿日市消防団四季が丘班 班長 松本 章秀

こんにちは廿日市市消防団 四季が丘班 班長の松本です。
消防団って聞いても「どんな事してるの?」って思われる方が大半だと思いますので今回、四季が丘班の活動内容を簡単に説明します。現在四季が丘班は団員10名で毎月の定例訓練を中心に、年間で林野火災訓練、水防訓練、建物火災訓練、年末特別警戒を行っています。それ以外にも四季が丘夏祭りや四季が丘防災キャンプ等の町内活動に参加しています。

今後も自治連合会、自主防災会等と力強く連携し、災害に強い四季が丘団地を築いていきたいと思っています！

全国的に消防団員の減少や高齢化が深刻な問題ですが、ありがたい事に四季が丘班の団員数は10名と安定していますが、大半が50代と高齢化しています、5年先10年先の事を考えると、今の内に20代30代の若い方に入団してもらい、今後の力強い体制を作って行きたいと思っていますので消防団に興味のある方(自信がないけど見学だけでもしてみたいなって方でも大丈夫です)は廿日市消防署か各町内会や自治連合会経由でも良いのでお気軽に問い合わせして頂くと幸いです。



円卓会議より（形は変わっても、思いは同じ）

四季が丘小学校 PTA 会長 反田 篤志

日頃より PTA 活動へのご理解とご協力、また子どもたちを温かく見守っていただき、心より感謝申し上げます。

さて、PTA の話題になりますが、この四季が丘団地が産声を上げた 40 年ほど前を振り返ると、連絡は紙、集まりは対面が当たり前で、「参加すること」がそのまま PTA 活動に繋がっていたのではと想像します。

それが現在では、生活スタイルや家族構成の変化とともに、連絡はデジタル・活動は必要なことを必要な分だけ。「できる人が、できるときに、できることを」という考え方が広がり、PTA の形もずいぶん軽やかになってきました。

また、PTA への関わり方も多様化しており、会議に参加することだけではなく、登下校時のあいさつや、気にかけて見守っていただくことも、今の時代ならではの大切な“参加の形”だと感じます。

「おかえり」「気をつけてね」といった一言は、昔ながらの、けれど今だからこそありがたい見守りです。そうした日常の関わりや、「知っている大人が地域にいる」ということが子どもたちの安心につながっています。

PTA は、学校・家庭・地域をゆるやかにつなぐ存在です。40 年前のように強く結ぶ役割から、今は必要なときにそっと支える存在へと、その役割も少しずつ変わってきているのかもしれませんが。

これからもそれぞれのペースで、無理のない形で、子どもたちを見守っていく活動を模索していきます。



町内会活動の今昔(その3) 町内会活動を通して part1 3丁目町内会会長 石崎 加寿子

私が町内会長をお引き受けすることになったきっかけは、正直に言うと「くじ」でした。班長の中から、会長・副会長あわせて4名の当たりくじを、思いがけず引くことになりました(笑) 子どもは大学生と高校生になりましたが、私はフルタイムで仕事をしており、毎日バタバタと過ごしています。町内会のことも分からないことばかりで、「本当に自分にできるのかな」と不安な気持ちでのスタートでした。実際にいろいろな会合に出てみると、町内会長が思っていた以上にたくさんの役割を担っていることを知りました。

四季が丘に住んで22年、これまで特に大きな不便を感じることなく暮らしてこられたのは、長年町内会を支えてこられた皆さまのおかげだと、あらためて感じています。そう思うと、私もできることから少しずつ頑張っていこう、という気持ちになりました。団地の高齢化が進む中で、町内会や自治連合会も、時代に合った形へと変わっていく時期を迎えています。連絡方法ひとつとっても、LINEアプリの活用などで、ずいぶん便利になりました。子どもたちはもちろん、大人も気軽に参加できて、楽しめる町内会づくりができればうれしいです。

微力ではありますが、皆さまのお力をお借りしながら、少しずつ取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

町内会活動の今昔(その4) 町内会活動を通して part2 上町内会会長 林 隼也

私自身、四季が丘に引っ越してきて11年が過ぎました。当初は宮内に住んでいたのですが引っ越して最初に驚いたことは、雪がすごく積もることです。子供のころは雪が積もって嬉しかったのですが、今は面倒なことばかりで憂鬱になってしまいます。新年の積雪時は子供と震える手で大きな雪だるまを作りました。子供の笑顔に癒されながらも、その後の外出を考えるとすなおに楽しめない自分がいました。

町内会活動に関しましては、お恥ずかしい話掃除関係以外ほとんど参加していません。たまたまのような仕組みで運営しているのかも知りませんでした。今回運よくくじ引きで町内会長に選ばれたので、現在は組織の仕組みや活動内容をベテランの方々に助けてもらいながら今日までやってこられました。選ばれたからには皆様のご迷惑ならないように、またより良い方向に進めていけるように尽力していきたいと思っています。

肝心の上町内会運営の方では皆様のご協力にいつも助けてもらい、感謝しかありません。様々な課題に頭をひねりながら少しでも暮らしやすいように、町内会運営が円滑に進められるようにこれからも頑張っていきたいと思えます。



自治連合会の予算計画と管理 四季が丘自治連合会会計(兼9丁目町内会長) 小田 文信

私は、令和5年度の四季が丘自治連合会の発足と同時に、会計を担当することになりました。

私が四季が丘自治連合会の会計を担当することとなったきっかけは、令和3年度の9丁目町内会の会長を、前任の町内会長から頼まれ、引き受けたことから始まります。

この町内会を引き受けた当時、四季が丘には「町内会連合会」と「コミュニティづくり協議会」の2つ団体が存在していました。この2団体は、廿日市市役所の指導で、合併する方向だとの事でした。

しかし、この合併について、何も進んでいない状況でした。このため、令和4年度に町内会連合会に合併を検討するため検討会を立ち上げることとなり、私も、その検討会のメンバーの一人として、合併の協議を進めてまいりました。このような経緯から、令和5年度の、四季が丘自治連合会の発足時に、会計を担当することとなりました。

前置きが長くなりなりましたが、四季が丘の会計を担当している立場から、四季が丘自治連合会の会計の規模、予算編成の進め方などについて四季が丘の皆様方にご紹介したいと思います。

■予算規模

予算規模は令和7年度を例に紹介しますと、収入額は1270万円になります。その主な内訳は、各町内会から約400万円、廿日市市役所からの補助金約250万円、前年度の一般会計繰越金約260万円と防犯灯繰越金約340万円から構成されます。支出の主なものは、四季が丘地区の防犯灯電気代と施設維持修繕費、地域行事(夏まつり、とんど)、自主防災関係費、各集会所の修繕費、井戸端会議等への団体助成金等を支出しています。



■予算編成作業

この予算編成に当たっては、毎年11月頃の役員会で、次年度の予算要求と当該年度の決算見込みを年明け1月の役員会に提出するように責任者に通知しています。なお、外部団体についても、代表者に同様の提出を依頼しています。この集まった予算要求等については、会長、筆頭の副会長、会計で査定会議を開催し調整を図っています。その後、予算計画を取りまとめの上、3月の役員会で審議し、新年度の総会に諮ることとなっています。

__予算編成と決算の手続きは、以上の様に進めています。

■会計事務について

この様に、予算・決算については、手続きを明瞭にして、四季が丘自治連合会の次年度の活動を明らかにするよう努めています。その他に、私が会計として基本的に意識していることについて、記述します。

__四季が丘自治連合会の収入は、各町内会が集めています町内会費の一部が「四季が丘自治連合会」の会費として納入されています。それと、廿日市役所からの交付金と補助金が財源となっています。

このため、四季が丘自治連合会の予算は、公金ですので、取り扱いには、十分注意が必要だと思っています。たとえ1円でも無駄使いは出来ないと思って会計を担当しています。(役員や各種団体からは「そこまで、うるさいことを言わなくても良いのでは」と思われていると思います。)

■おわりに

以上の様に、会計の立場から、四季が丘自治連合会の予算・決算の仕組みをご紹介させていただきました。最後に、四季が丘も高齢化に伴い、この連合会の役員も高齢化が進んでいます。

__是非、若い人たちに役員に手を挙げていただき、若い力で四季が丘を盛り上げていただければ、と思っています。若い人達の積極的な参加をお願いしてペンを置かせて頂きます。

どんど開催の御礼【とんど実行委員会】

副会長(事業担当) 田中 一成

四季が丘地区の新春行事の「とんど」を雪の降る寒い中、多くの皆様のご来場いただき無事に終えることができました。この紙面をおかりして開催にご支援いただきました皆様に深くお礼申し上げます。

開催前日の準備段階から風も強く、翌日の予報も風雪注意報が発令されるなど、開催を中止または着火を12日に延期なども検討しましたが、当日朝の気象情報を確認し、消防署の指導を受けて開催させていただきました。

開場した8時30分頃から降りだした雪により、午前9時過ぎには下の写真のような状況になりました。幸い、着火予定時刻の風は微風、降雪により周辺への火災発生の恐れもないことから午前10時に着火しました。



とんどでの催しは、「餅つき・餅の配布」、「豚汁炊き出し」、「ビンゴゲーム」、「自主防災啓発訓練」を開催しました。令和7年4月の規約改正で専門部会を廃止されたことから、今回の催し物の運営では、これまで以上に円卓会議に所属する組織と実行委員会で協力して開催しました。

事業・催し物	活動協力された団体等
とんど設置・片付け	・四季が丘11町内会(組み立て・片付け)・廿日市市消防団四季が丘班(火災予防待機)
餅つき	・四季が丘小学校 PTA・四季が丘市民センター(餅つき体験学習参加者)
豚汁炊き出し	・四季が丘地区社会福祉協議会
ビンゴゲーム	・とんど実行委員会
防災啓発訓練活動	・四季が丘自主防災会

実行委員会は、自治連合会の役員と長年とんど事業に協力いただいている有志16名を中心に活動しています。また、各町内会から22名の実行委員に参画いただき、事業・催し物の役割を分担し、準備、運営を行ってま

す。今回、雪と低温の中の開催になり、四季が丘小学校教頭先生のお場でのご判断で豚汁配布の場所に四季が丘小学校児童玄関をご提供いただきました。これにより、ご来場の皆様、運営に協力いただいた諸団体の皆様に落ち着いて豚汁を召し上がっていただくことができました。先生のご判断で参加している実行委員に心の余裕が生まれ、雪の降る寒い中、安全に無事故で終了できましたことに深く感謝しております。

■とんど会場における自主防災会の活動を紹介

・雪が降る中で自主防災会では、水消火器による消火訓練を実施しました。また、非常用簡易トイレ(各町内防災倉庫に配備)、避難生活時のプライバシー確保の3人用テント(防災倉庫保管)を展示されました。



▲水消火器による消火訓練



▲非常用簡易トイレ



▲3人用テント

■その他団体の活動報告は、四季小だより、市民センターだより、サロン・ド・四季が丘の各2月号に掲載されました。

令和8年度定時総会開催のお知らせ

四季が丘自治連合会役員会

四季が丘自治連合会の令和8年度定時総会を下記の日時及び議題にて開催いたします。

- ・開催日時: 令和8年4月19日(日) 午前10時開会
- ・開催場所: 四季が丘市民センター 講堂
- ・議 題: 令和7年度事業・活動結果及び会計監査の報告
令和8年度事業・活動計画(案)及び予算計画(案)の審議
(任期2年目により令和8年度四季が丘自治連合会役員の改選はありません。)

【伝達事項】

- ・四季が丘自治連合会の規約に基づき、総会出席の総代数は、各町内会の世帯数から算出します。
- ・各町内会の総代数は、令和8年3月に各町内会長に伝達し、各町内会の総代名簿の提出を合わせて依頼させていただきます。
- ・各町内会の総代に総会開催のご案内とともに委任状をお渡ししますので、総会ご欠席の場合は、委任状を総会開催までに提出ください。
- ・委任状の提出場所、提出期限は、ご案内文書に記載させていただきます。

広報四季が丘編集部から

広報四季が丘7号いかがでしたでしょうか。本年度より広報部から自治連合会事務局発行に変更となりました。

編集部は、会長・副会長2名・事務局長・事務局員2名の6名で運営しています。編集部発足時に今までの四季が丘地域内の行事報告を中心とした構成から自治連合会の活動や運営の中身を紹介し、より開かれた自治連合会となるよう記事や構成に配慮して編集してみました。

新たな企画として、担当役員による自治連合会の運営・しくみ・行事の紹介、役員会を構成する町内会長ならびに円卓会議に所属する団体代表からの寄稿を掲載しました。また、「地域の声」の欄を設け、これまで四季が丘地区に貢献いただいた方々や四季が丘を羽ばたき全国に、世界に活躍の場を広げる若人の皆さんをご紹介させていただきました。本号では、「地域の声」の記事がなく皆様には残念な思いをさせていただきましたが、次号には掲載させていただきます。また、本号では、自治連合会の予算計画・管理の概要を会計 小田様より寄稿いただきましたが、自治連合会の活動に透明性を持たせる報告の場として今後も発行してまいります。

平成7年度は、7号を含めて3回の発行でしたが、来年度以降は、4回(5月、9月、1月、3月)の発行を予定しております。巻頭の岡永会長からありました「住民同士の交流が深まり、顔の見える四季が丘」の一助に繋がるよう編集してまいります。地域の皆様の暖かいご支援を引き続き賜りますようよろしくお願いいたします。(番外編)・・・前回の広島カープ OB による野球教室の写真が小さいとの意見がありましたので再掲載します。

